

日本ジャージー登録協会通常総会 概要

丸山昭博氏が新会長に選出

日本ジャージー登録協会（高村祝次会長）は去る 5 月 18 日、東京都内で第 83 回理事会並びに第 70 回通常総会を開催し、令和 7 年度の事業報告及び収支決算報告を承認したほか、令和 8 年度の事業計画案及び収支予算案のすべての議案について原案のとおり可決承認された。

第 83 回理事会では、昨年 10 月 25 日からの 2 日間、北海道安平町で開催した第 16 回全日本ホルスタイン共進会の概要、血統登録証明書の交付方法の見直しについて報告があった。協議事項では、全国ジャージー酪農振興協議会の活動支援について協議を行った。

第 70 回通常総会では、第 1 号議案の(1)「令和 7 年度事業報告」では、次の内容が報告された。会員数は 1 年会員 348 名で前年比 119.2%、血統登録申込件数は雌 1,435 頭、雄 0 頭で、雌では前年比 102.4%と増加した。審査成績証明は、牛群審査 12 戸 65 頭、個体審査 55 頭で、牛群審査は前年度より 1 戸 9 頭の減少となった。検定成績証明は第 16 回全共の出品に検定成績証明が必要であることから、前年度よりも 77 件多い 304 件の申込みがあり、前年度対比 133.9%となった。

次に第 1 号議案の(2)「令和 7 年度収支決算報告」では、収入計 1,003 万 3,188 円で、そのうち会費収入は予算対比 116%、血統登録収入は予算対比で 101.5%と増加した。一方、支出計は 973 万 3,875 円となり、当期収支差額は 29 万 9,313 円となった。決算監査では「適正である」との報告が行われた。

第 2 号議案の(1)「令和 8 年度事業計画案」について、血統登録申込頭数は 1,429 頭を見込む。審査成績証明は前年より 20 頭減、検定証明は前年度とほぼ同じ件とし、遺伝子型検査は受精卵移植の親子判定の申込が増加傾向であることから、全体で 25 件の増加を見込む。

第 2 号議案の(2)「令和 8 年度収支予算案」では、血統登録、審査成績証明、検定成績証明等の見込件数から算出した収入合計は 735 万 3,000 円となり、前年度予算対比 159 万 9,000 円の減。支出合計は 666 万円で、前年度予算対比 289 万 6,000 円の減と、収入・支出共に前年度よりも大きく減る見込み。これは、令和 7 年度に全共積立金を取崩したことによる影響で、今年度は取り崩しが無いことから大きく減少する。令和 8 年度の当期収支差額は 69 万 3,000 円で、繰越収支差額を加算した次期繰越収支差額は 1,410 万 3,418 円を見込む。

第 3 号議案の「任期満了に伴う役員選任」では、3 期 9 年会長を務められた高村祝次氏から、新たに丸山昭博氏が会長に選出された。

全国ジャージー酪農振興協議会総会 概要

第 16 回全共にて全国のジャージー乳製品を販売

登録協会の通常総会に引き続き、全国ジャージー酪農振興協議会（長恒充委員長）の第 53 回委員会・第 49 回総会が開催され、令和 7 年度の事業報告及び収支決算報告を承認したほか、令和 8 年度の事業計画案及び収支予算案のすべての議案について原案のとおり可決承認された。

第 53 回委員会では、昨年 10 月 25 日からの 2 日間、北海道安平町で開催した第 16 回全日本ホルスタイン共進会の概要について、北海道ジャージー酪農振興協議会ならびに日本ジャージー登録協会と共催して、全国のジャージー乳製品の販売、当協議会の会員拡大活動等を行ったことを報告した。

協議事項では、本協議会の会員拡大に向けた活動案が提示された。ジャージー交流会開催の年度内開催も含め、北海道ジャージー酪農振興協議会と協議し、日本ジャージー登録協会からの活動支援についても協議することとした。

第 53 回総会では、第 1 号議案の(1)「令和 7 年度事業報告」について、次の内容が報告された。令和 7 年度会員数は団体会員 3 団体（北海道・岡山県・熊本県）、個人会員 7 名、賛助会員 2 団体（群馬県・山梨県）で何れも増減はなかった。第 16 回全日本ホルスタイン共進会では、付帯行事である酪農器具資材展・技術交流会への参加、2025 年分ジャージー手帳を日本ジャージー登録協会とともに制作し、ジャージー専任の登録委員並びに関係者に配布。併せて、当協議会が造成したジャージー種雄牛「スイトン JW ミスター チーフ」の娘牛に係る遺伝的能力評価の調査等を報告した。第 1 号議案の(2)「令和 7 年度収支決算報告」についても原案とおり承認された。

第 2 号議案(1)「令和 8 年度事業計画案」について、優良ジャージーの普及推進、会員拡大に向けた取り組みを計画し、日本ジャージー登録協会と共催する等の検討を行う。次の全共（第 17 回）に向けた準備を行うこと、当協議会で造成した種雄牛の娘牛の追跡調査を提案し、原案のとおり承認された。

第 2 号議案(2)「令和 8 年度収支予算案」、(3)「会費徴収案」についても、原案のとおり承認された。

第 3 号議案の「任期満了に伴う役員選任」では、長恒充氏が引き続き委員長に選任された。